



K u m a m o t o

u r b a n

③ 都市圏の交通ネットワークの将来像

t r a n s p o r t

m a s t e r p l a n



「多核連携型の都市圏構造」の実現が必要です。

都市圏の将来像

多核連携型の都市圏構造

熊本都市圏の将来像としては、熊本都市計画区域マスタープラン(目標年次平成42年)などの上位計画との整合を踏まえ、人口減少・超高齢社会が進展する中においても活力ある都市づくりを進めるため、連携中枢都市圏に求められる広域的な拠点機能や都市機能を交通網に合わせ配置し、熊本市と周辺市町村、また近隣市町村相互が補完・連携しながら、暮らしやすさと持続的な発展を確保する「多核連携型の都市圏構造」を目標像とし、その実現に取り組んでいくことが必要です。

熊本都市計画区域マスタープランによる将来市街地像図(参考)

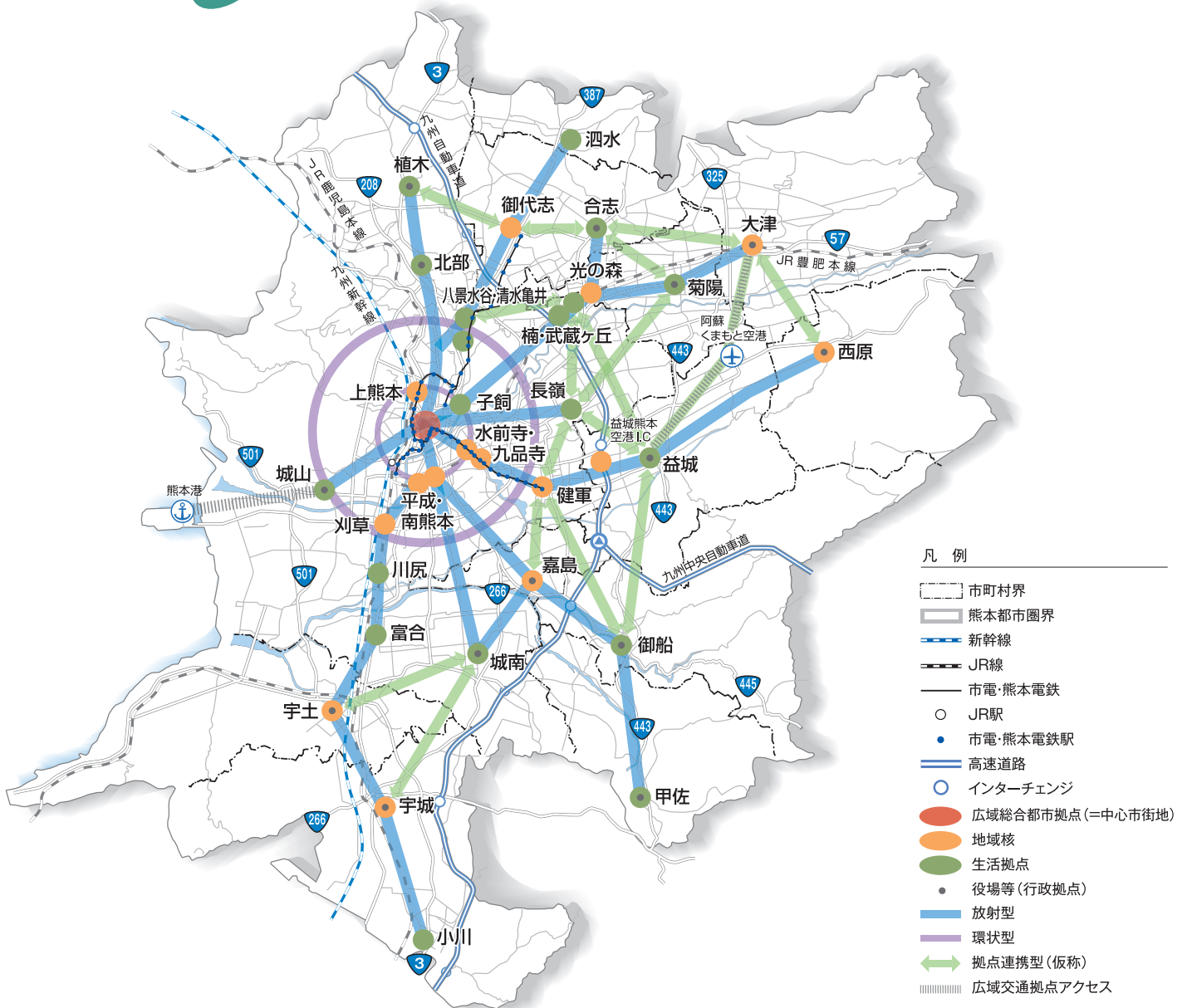


多核連携型の都市圏構造の形成に向けて

都市計画区域マスタープランなどにおいては、熊本城や通町筋、桜町、熊本駅周辺で構成される熊本市中心市街地活性化基本計画エリア(以下、「中心市街地」という。)を高次の都市機能と交通アクセスが確保された「広域総合都市拠点」として位置付けているほか、都市圏内には高次の生活サービスを効率的に提供するための地域核や日常生活に必要な施設を集積させた生活拠点の形成と住宅地形成とを一体的に行うなど、都市再生や立地適正化の考え方のもと、人口動向を踏まえた計画的な市街地形成を進めていくことが位置付けられています。

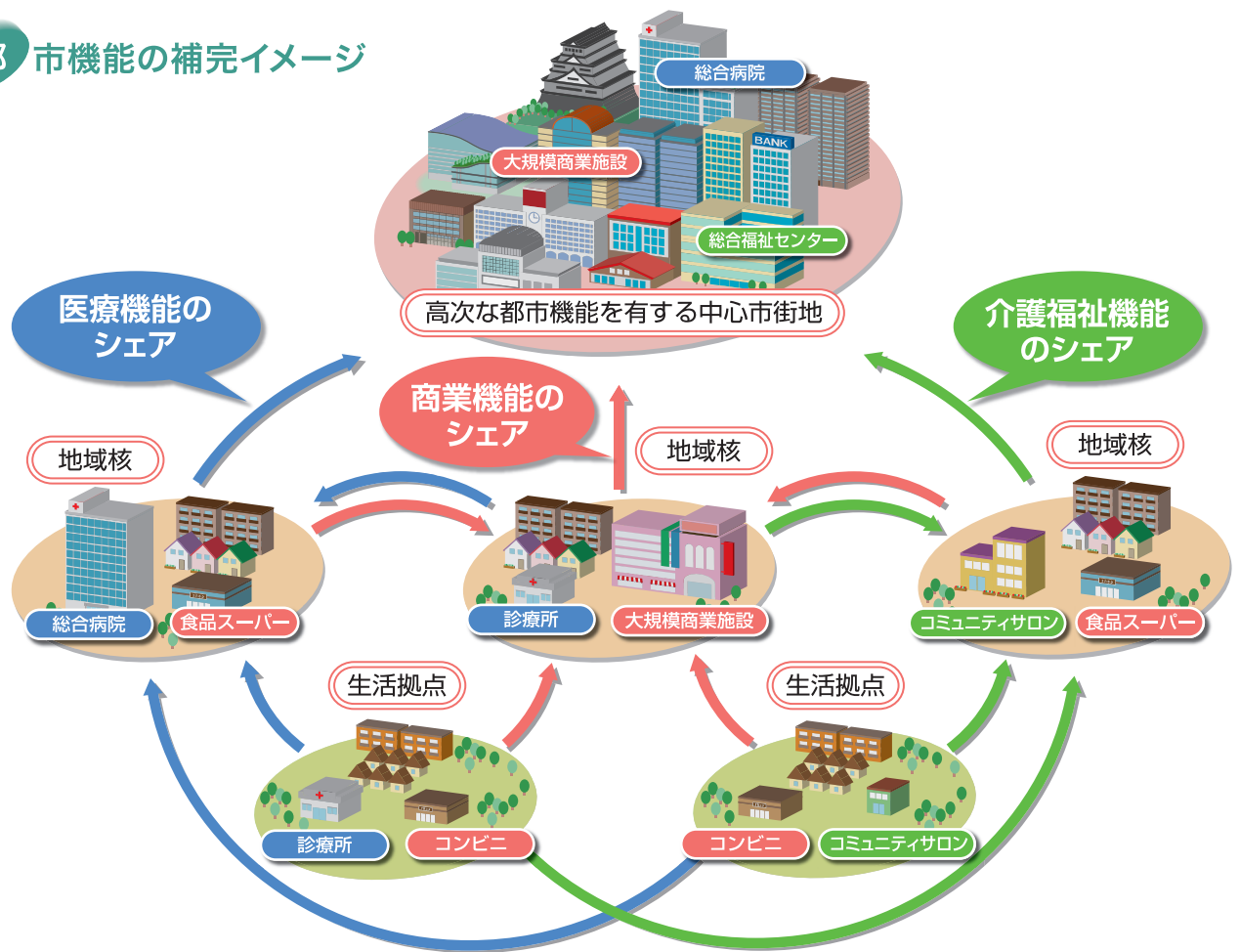
パーソントリップ調査の結果より、生活圏や経済圏が複数の市町村に及ぶことが明らかであり、土地利用政策と交通政策の連携を図りながら、市町村間を結ぶ幹線道路の整備や、今後も増加する高齢者をはじめすべての人が過度に自動車に頼ることなく移動できる利便性の高い公共交通網の整備に、関係自治体が連携して取り組んでいくことが必要です。

パーソントリップ調査の結果に基づく都市圏連携イメージ



多核連携の将来イメージ

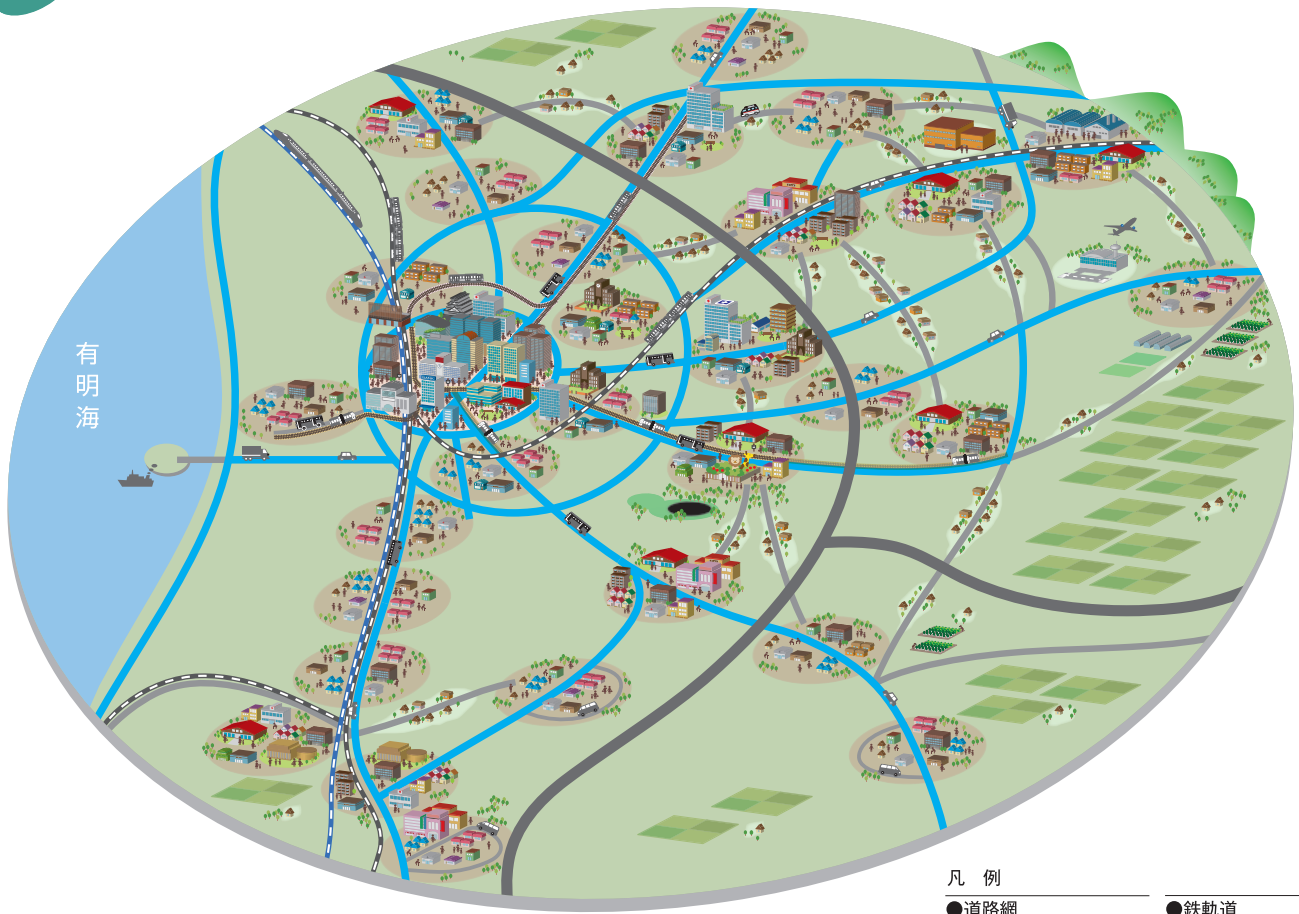
都市機能の補完イメージ



熊本都市圏の多核連携イメージ



熊 本都市圏の都市機能配置イメージ



凡例

- | | |
|---------|--------|
| ●道路網 | ●鉄軌道 |
| ○環状放射道路 | ○公共交通軸 |
| ○高速道路 | 鉄道 |
| ○その他の道路 | 路面電車 |
| | ○新幹線 |

大規模工業団地等

交通軸で連結
拠点の持つ機能が
相互に補完される



商業系の地域核

生活拠点

「基幹となる公共交通軸」、「骨格となる幹線道路網」の形成が必要です。

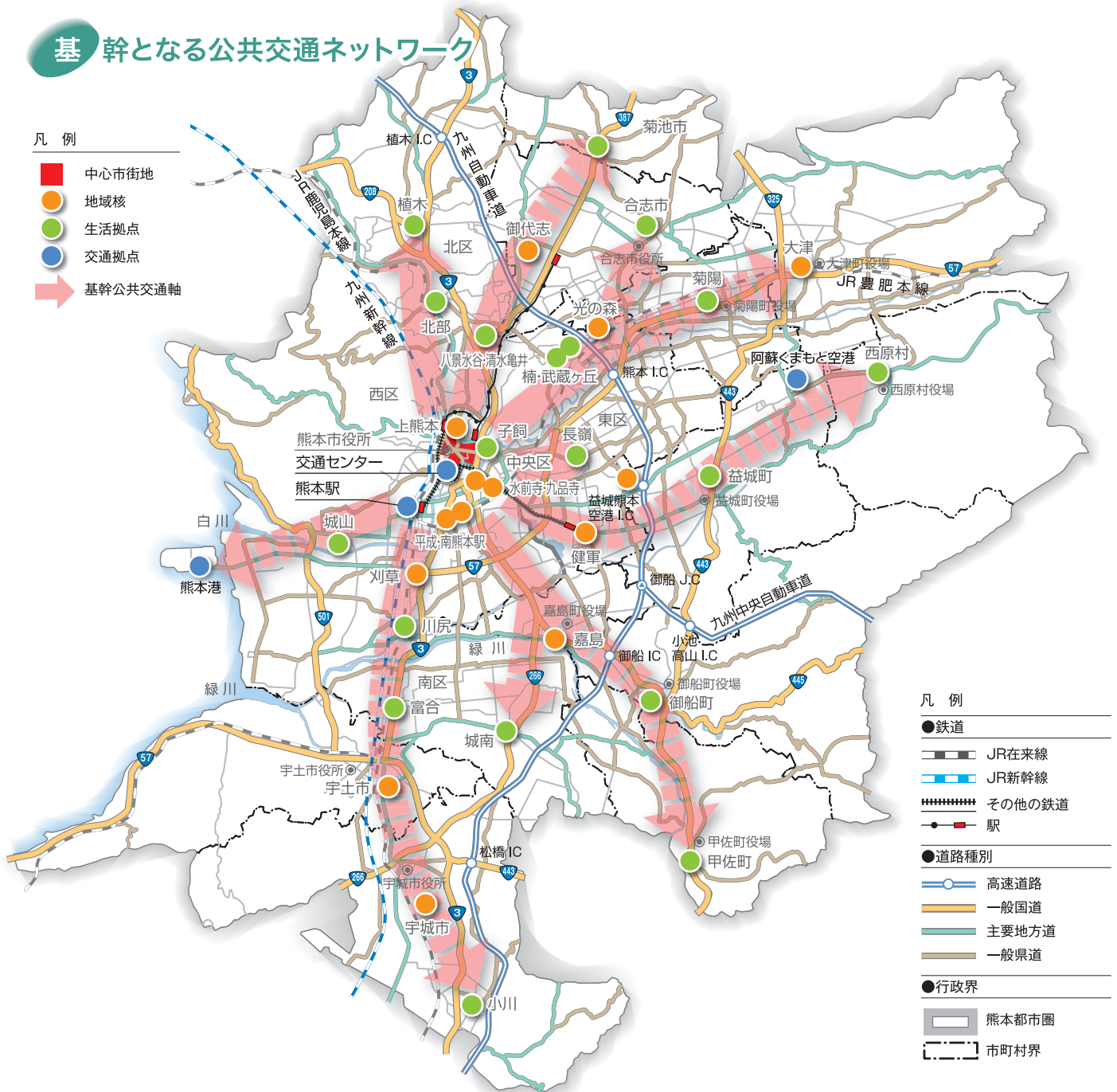
交通ネットワークの将来像

「多核連携型の都市圏構造」の形成を支援するため、地域間の交通需要に的確に対応するとともに地域間連携を支える交通ネットワークの将来像として、「放射8方向の基幹公共交通軸」や「2環状11放射道路網」の形成を進めていく必要があります。

公共交通ネットワーク

- 中心市街地と地域核や生活拠点を結び交通需要の多い**放射8方向**を「**基幹公共交通軸**」と位置付け、公共交通の定時性・速達性を高めるとともに、利用状況に応じた輸送力を確保することが必要です。
- また、基幹公共交通軸上の地域核や生活拠点には、郊外部からアクセスするフィーダーバスや地域コミュニティ交通などを接続させることで、可能な限り都市圏全体に公共交通サービスが行き届く「**多核連携公共交通網**」を形成することが必要です。

基幹となる公共交通ネットワーク



道路ネットワーク

○都市圏内外の広域的な交流の促進や中心市街地と周辺市町村間の放射型の交通需要に対応するため、走行性の高い**2環状11放射の「骨格幹線道路網」**を形成していく必要があります。

○地域核相互や地域核と生活拠点相互の連携及び物流交通の円滑化などを支援するための**「多核連携道路網」**を形成していくことも必要です。

骨格となる道路ネットワーク

